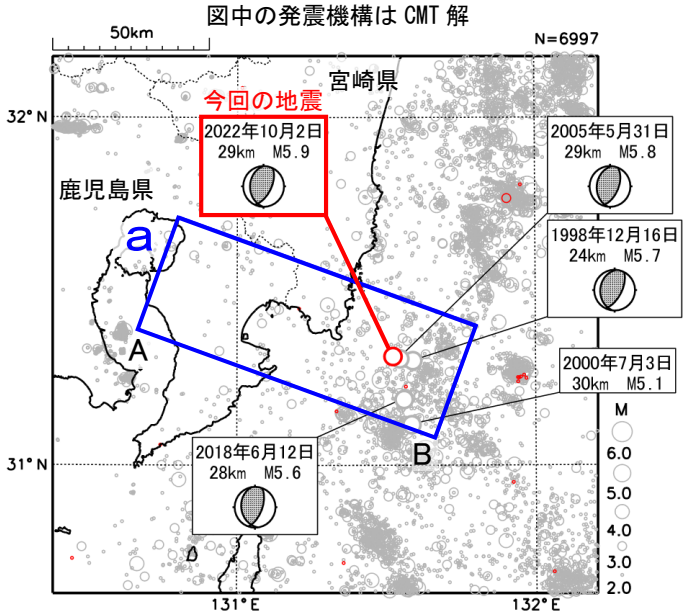
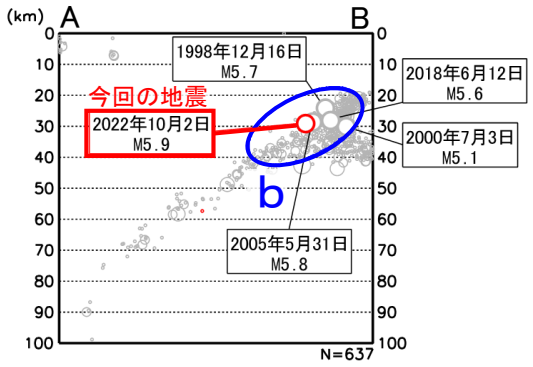
10 月２日　大隅半島東方沖の地震

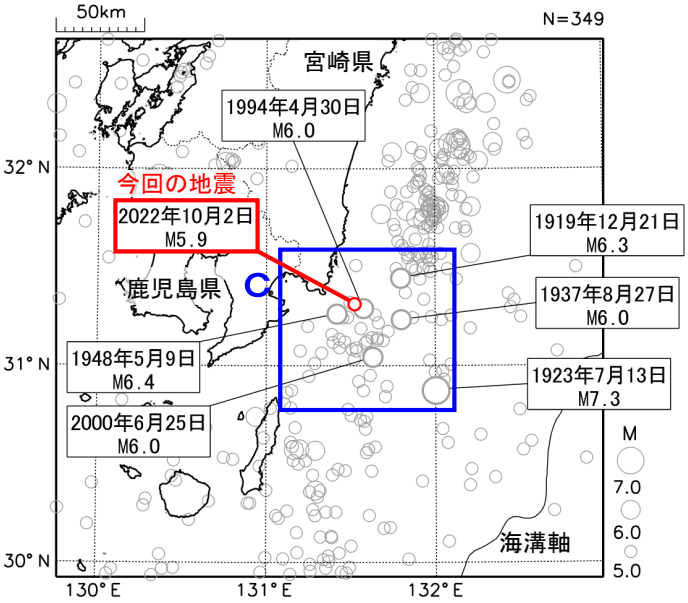
震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2022 年 10 月 31 日
深さ０～100km、M≧2.0）
2022 年 10 月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構は CMT 解



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2022 年 10 月 31 日、
深さ０～100km、M≧5.0）
今回の地震と M6.0 以上の地震に吹き出しを付加

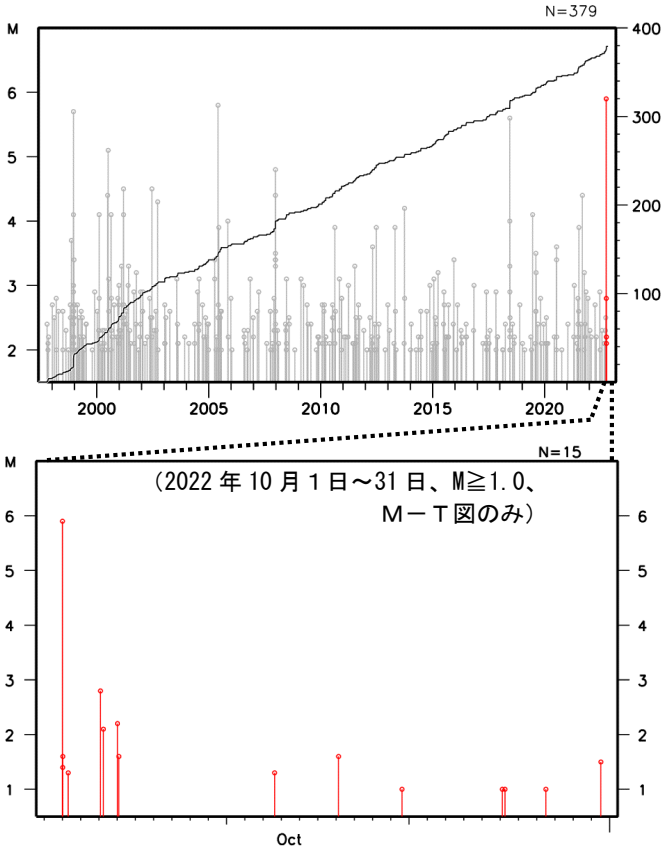


2022年10月２日00時02分に大隅半島東方沖の深さ29kmでM5.9の地震（最大震度５弱）が発生した。この地震により長周期地震動階級２を観測した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

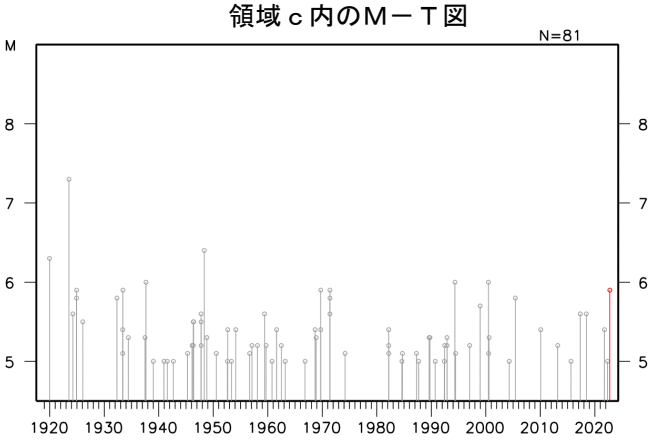
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）ではM5.0以上の地震が今回の地震を含め５回発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）ではM6.0以上の地震が６回発生している。このうち、1923年７月13日に発生したM7.3の地震では、鹿児島県の中種子村（現在の中種子町）で住家小破27棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｃ内のＭ－Ｔ図



気象庁作成